

2007 年度

科目名	対象学科・学年 教育教福3回生	担当者
乳幼児保健学実習		田中 米子
授業テーマ 保育の場における乳幼児の健康を守る知識と技術を学ぶ		
授業の概要と目標 1. 乳幼児期の発育・発達に応じた保育、養護の知識と技術を習得する。 2. 乳幼児期の健全な成長・発育を助けるための知識と技術を習得する。 3. 乳幼児の健康状態を把握し、異常の早期発見、疾病予防および救急処置、看護について理解し、実践できる知識と技術を習得する。 4. 乳幼児の事故防止、安全教育についての知識と技術を習得する。		
評価方法 出席20%、レポート80%の評価		
テキスト	著者	出版社
小児保健実習―保育と保健・看護の視点から	兼松百合子他	同文書院
参考書	著者	出版社
育児の原理	内藤寿七郎	アップリカ 育児研究会
授業スケジュール・内容		
1. 乳幼児保健学実習を学ぶにあたって	授業の進め方、評価方法、レポートの提出について 乳幼児の特徴、育児の現況 ビデオ鑑賞「赤ちゃんこのすばらしい命」	
2－3. 健康状態の把握	一般状態の健康観察、成長・発達の観察（身体計測） 生理機能の観察（バイタルチェックの方法）	
4－7. 日常生活の養護（1）	生活環境と身体清潔（沐浴実習） 運動・あそび・鍛錬・抱き方 （外気浴、赤ちゃん体操、タッチケア、カンガルケア） 排泄のケア、睡眠・休息のケア、歯磨き指導	
8. 基本的看護技術と一般症状に対する看護（与薬、電法、消毒の方法）		
9－10. 感染の予防	施設内の感染予防対策 予防接種の受け方と留意点	
11. 事故予防と安全対策	育児機器について（アップリカ試験センター見学）	
12－13. 救急処置	応急手当 救急蘇生法（心肺蘇生法） 包帯法、運搬法	
14. 乳児とのふれあい	3～4ヶ月児とのふれあい （抱っこ、身体計測、タッチケアなど）	
15. 乳幼児保健・福祉に関わる人々との連携		